

# 「周南学」の編集に向けて

－ 地理的課題 －

Editing "Shunan-gaku"

－ Approches from Geographical Standpoint －

兼 重 宗 和

## 目 次

- I 周南市の地名
- II 周南の地理的特色
  - 1) 人文地理学的特色
    - A) 徳山下松港
    - B) 周南の人口
  - 2) 自然地理学的特色
    - 地形的特色
- III 周南の地理的課題

## I 周南市の地名

本稿は「周南学」の編集に向けて、地理的側面から周南の特色を見だし、その地理的事象を成り立たせている要因を調査・研究し、その地理的課題や将来像について論考する一助となることを目的とする。つまり、生活の舞台となる地理的特色の把握することは、地域の課題解決に向けての基本となる。今回取り上げる地域は、周南市・下松市・光市でその概論を述べる。

本学の所在する周南市は、2003年4月に合併し、今年10周年の記念式典が開催された。周南地区の市町合併は周南合併



と呼ばれ、山口県内最初の「平成の大合併」の事例となった。徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の2市2町の合併であった。市名は、公募によって選定された。かつて周防の国は東部地域を周東、北部地域を周北、南部を周南と呼んだ。周南は、防府市から柳井市までの広い地域を指していた。昭和後期以降、特に現在の周南市、下松市、光市の地域（周南地区）を指す呼称として用いられるようになった。かつては光市に周南町が存在していた。

周南市は、北部は中国山地一部を占め、錦川上流の鹿野盆地などでは冬季に積雪がある。南部は、瀬戸内海に面し平野が広がり気候も比較的温暖である。旧徳山市は、第二次世界大戦直後の区画整理で青山町、銀座、新宿通、原宿、晴海、有楽町、代々木通、桜木町や横浜、川崎など東京の地名が多い。東京の10分の1の地方都市を目指したと伝える。隣接する下松市、光市とも産業・経済・交流面等で結びつきが強く、下松市・光市とともに人口約25万人の周南広域都市圏を形成する。周南市の地区名は、（徳山地域）鼓南・櫛浜・久米・桜木・周陽・秋月・遠石・岐山・関門・中央・今宿・須金・中須・須々万・長穂・向道・加見・富岡・大津島・夜市・戸田・湯野、（新南陽地域）富田西・富田東・福川・和田、（熊毛地域）三丘・高水・新清光台・勝間北・呼坂・大河内・八代・勝間原、（鹿野地域）鹿野の35である。

以下、地誌として地形的に特色あるものを取り上げながら、人文地理の特色を加えつつ論じる。その中にも様々な課題が存在している。

## II 周南の地理的特色

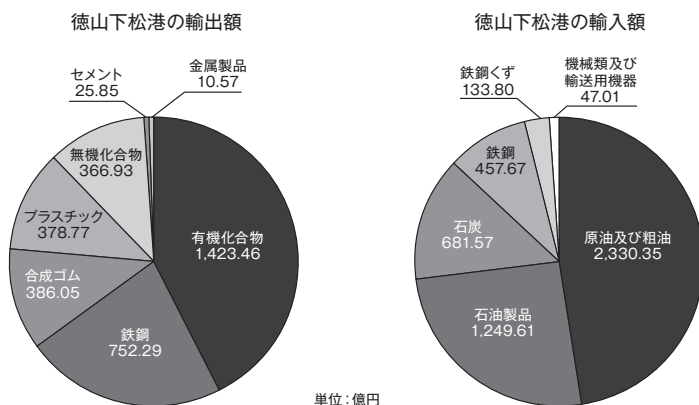
### 1) 人文地理的特色

周南の人文地理的特色の概要は、次のとおりである。

#### A) 徳山下松港

徳山下松港は、今後の周南にとり重要な役割を担っていくことになるのでここに取り上げる。南部に瀬戸内海に面し国際拠点港湾（2011年指定）の徳山下松港（周南市・下松市・光市にわたる港湾）がある。現在、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定されている。港湾取扱貨物は、石炭、

石灰石、原油等の鉱産品とセメント、石油製品、化学薬品等の化学工業品が全体の約9割を占めていたが、近年外国からのコンテナ貨物が急増してきた。また、平成15年に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の指定を受け、海上静脈物流とリサイクル産業の拠点形成に向けた取り組みがなされている。平成23年度の徳山税関支署発表による徳山下松港の輸出総額は4,130億09百万円、輸入総額は5,752億53百万円で1,622億44百万円の輸入超過である。輸出入製品の割合を示すと下記の円グラフのようになる。また、平成14年から23年までの徳山下松港の港湾取扱貨物量は下表ごとく平成17年をピークに減少している。コンテナの取扱量は、平成10年に600,000フレートトン（Freight Tonnage）が平成22年には倍増し1200,000フレートトンに達した。平成23年の港湾取扱貨物量（81品種）の表を論文の最後に載せておく。



徳山下松港の港湾取扱貨物量の推移

(単位：千トン) 山口県港湾課資料

区分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
輸出	2,368	3,522	3,705	3,488	3,640	3,267	3,561	3,383	3,137	2,667
輸入	16,795	19,094	18,715	20,301	19,014	19,595	18,621	17,357	18,966	18,536
移出	21,518	21,669	22,692	23,223	22,938	22,995	20,735	17,363	17,427	17,939
移入	18,217	18,255	19,885	19,226	18,899	18,267	17,532	13,519	13,294	12,833
合計	58,898	62,540	64,997	66,238	64,491	64,124	60,449	51,622	52,824	51,976

項目名	単位	16年	17年	18年	19年	20年
外貨	TEU	65,555	65,120	66,148	70,218	61,270
内貨	TEU	40,090	56,181	56,452	53,718	52,751
合計	TEU	105,645	121,301	122,600	123,936	114,021

コンテナ定期航路就航は、現在韓国（釜山）航路（長錦商船（株）カメラライン（株））、中国航路（民生輪船有限公司上海分公司、中国遠洋運輸総公司）、東南アジア（タイ）航路（萬海航運有限公司）が開かれている。その平成16年～20年の取扱量の推移は表のとおり平成19年ピークに達している（単位TEUはtwenty-foot equivalent unit）。また徳山港には、大分県国東市の竹田津港との間にスオーナダフェリーが運行している。

## B) 周南の人口

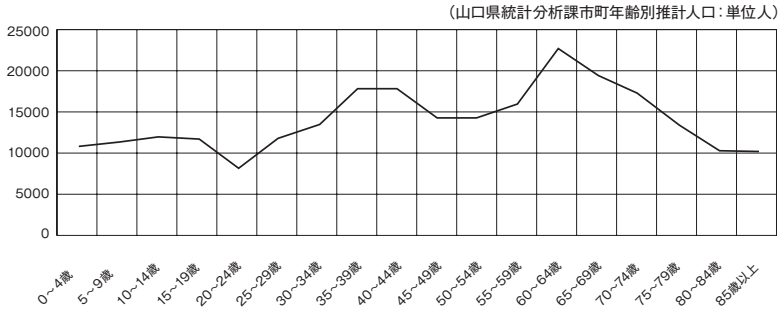
平成25年8月現在の周南市の人口は146,720（男70,844・女75,876）人、下松市は55,160（男26,606・女28,558）人、光市は52,061（男52,061・女27,286）人で、3市の合計は253,941人となり山口県の人口601,443の42.2%がこの3市が占める。その年齢別構成は下記の平成24年周南3市年齢別人口構成グラフのように、39歳からは減少の一途をたどり、19歳頃から12,000弱に横ばいとなる。一方、65歳以上の前期・後期高齢者の総数71,243人と高齢化社会を迎えている。その分布は、徳山中心部には数多くのマンションが建設され65歳未満の人の多くが市街地周に居住し、周辺地区には団地が開発されたが「ニュータウンの高齢化」が始まりつつあり、中山間部は高齢化社会となっている。

## 2) 自然地理学的特色

### 地形的特色

周南平野は、温暖で新南陽地区・徳山地区・下松地区と海岸沿いに細長く広がる。光地区は島田川下流に沿い平野が広がる。その海岸に面してコンビ

### 平成24年 周南3市年齢別人口構成



ナート等の工場群がつながる。その北側は、国道2号線・188号線に沿いに商店街・住宅地が占め、それを囲んで水田が広がる。北部は山地が繋がり盆地が点在し、ダムやゴルフ場がある。河川は、東部から二級河川の島田川、切戸川、末武川、東川、富田川、夜市川、北部に錦川があり瀬戸内海に流れ込む。徳山地区は海から山地の距離が短く、そのため徳山下松港・山陽本線・新幹線・国道2号線・山陽道などの交通網が集中する特色がある。

まず、地理的な条件による周南市の特色と課題を、主に徳山大学総合研究所研究事業で大竹義則・林正久の研究「中国地方の地形環境」(2011年3月)の研究成果を参考に述べる。

山地や盆地の代表的特色は以下の通りである。周南市は、瀬戸内海側に小起伏の山頂や盆地がほぼ連続的に分布する。大規模で概ね400～700mの定高性の山頂を持つ周防高原が、岩国市由宇町から周東町・周南市・山口市へと続く。それは、標高の異なる上・中・下3つの小起伏面に分類できる。各面の境界部は、やや急な山腹斜面に取り巻かれ、山頂に小起伏面をのせ、全体として台地状の形状をなす。周南市の上位の小起伏面では、八代盆地北の岡山①(数字は「平成の大合併日本新地図」上の位置を指す、以下同)(標高597.4m)、八代盆地東の烏帽子岳②(標高696.6m)が代表される。低位の小起伏面は、標高400m前後に分布し、山頂のみならず盆地部も含み、他の2面に比べ、広い面積を占める。その中で連続性が最も顕著なところは、須々万盆地③や八代盆地④とその周辺である。この小起伏面は、須々万盆地から

北西方向へ錦川の河谷を遡った鹿野盆地⑤の盆地底につながる。盆地底やその周辺の小起伏面は、集落や耕地、ゴルフ場として利用されているところもある。

北東部には、鹿野町と錦町境に位置する長野山⑥（標高1015.3m）がある。標高850m付近から山頂は、谷が浅くなるとともに尾根の傾斜も緩やかになる。この山頂付近の小起伏面は、中国地方に発達する小起伏面の中の「脊梁山地面（道後山面）」に対比され、準平原遺物と考えられている。小起伏面の範囲は山頂付近のごく狭い範囲である。長野山から南東に延びる尾根沿いにも小起伏地形があり、馬糞ヶ岳⑦（標高985.2m）に続いている。一方、長野山北方には、尾根伝いに少し離れた島根県境付近の山頂周辺に小起伏面が分布する。県内最大の河川である錦川の上流端で冬の積雪も多く、清流が流れる。北部島根県境には、筋ヶ岳⑧（標高1004m）や高岳⑨（標高962m）の高山が連なる。

周南市の火山地形として溶岩円頂丘の千石岳⑩（標高630m）、金峰山⑪（標高789.9m）、四熊ヶ岳⑫（標高504.1m）、嶽山⑬（標高363m）・白井岳⑭（標高661m）、円山⑮（標高648m）などがある。これらは、青野火山群に属し、安山岩質の溶岩円頂丘で山頂部までかなり開析が進んでいる。形成時期は、43万年前あるいは60万年前と推定されている。これらの中で金峰山は、最も規模が大きい。かつては農家の草刈山で、春先には山焼きが行われていた。山口県の火山は、溶岩が盛り上がった溶岩円頂丘（溶岩ドーム）で岩石は黒雲母を含む角閃石安山岩である。北部地域の青野火山群は、溶岩円頂丘の形態が良く保存され、南に行くほど火山体が解析され山の崩壊が見られる。

盆地としては、標高約300mの八代盆地がある。末武川の上流に位置し、北側にはゴルフ場があり、盆地内では主に米作が中心となり無農薬米「つるの里米」も栽培する。また酒米を栽培し市内の酒造会社が酒の原料として使用する。本州で唯一のナベヅル渡来する場所で特別記念物に指定されるとともに山口県鳥ともなっている。

須々万盆地は、標高が約300mの高原盆地である。中心部には須々万川が

あり、川は東進して菅野湖に注ぐ。盆地の北部には緑山⑩（標高614m）がそびえ、菅野ダム湖・川上ダム湖があり、山陽・山陰を結ぶ北部地域の交通の要衝である。米作が中心であるが、昭和中期頃から周南地域のベッドタウンとして開発が進み、ゴルフ場も点在する。飛龍八幡宮にある国の天然記念物「大玉杉」をはじめ沼城の水攻めでも有名である（都濃郷土史研究会発行「陶氏・毛利氏ゆかりの地 周防國須々万」）。特に須々万本郷は、落差の少ない盆地として、中世には湿地帯的な地域であったと推定される。

鹿野盆地は、周南市の中心部から北へ約27kmを隔てた中国山地の西端南側に開けた標高約375mの高原盆地で、県内最長の錦川の源流が所在する。萩への山代街道があり、江戸時代以降市場町として発達した。現在中国自動車道が通り鹿野インターチェンジがある。平地部分は米作中心であるが地域の大部分は山林が占め、林業地帯で、椎茸、エノキタケ、山葵の栽培が行われ、果樹の梨等の栽培も行う。漢陽寺の境内には300年前に作られた潮音洞があり、洪川の水が本洞を通り水田をうるおしている。恵まれた自然を生かし、オートキャンプ場も整備されている。

周南市の長穂には、中規模な河川地形としての環流丘陵が見られる。周防高原を開析して流れる錦川の中流部に位置する。錦川本流の南側に北西～南東方向に細長く伸びる丘陵（長径約500m、短径約130m、最高点の標高344m）で、それを取り巻き旧河道の凹地が続いている。凹地の西側は、河岸段丘で最高地点の標高約310mである。南部から東部は、環流丘陵の周りに低い段丘を伴う沖積面となっている。環流丘陵の緩斜面および周囲の河岸段丘面上に長穂の中心集落や畑がある。他の旧河道部は、大部分が水田である。北側の龍門寺山の裾野に守護大内氏の守護代の陶氏の菩提寺である龍文寺があり、それに接してゴルフ場がある。同地では、県指定無形文化財の念仏踊が伝えられている。

東川には、河川地形の中規模な扇状地がある。そこに中心市街地が立地する。扇頂部は、標高約60mで扇頂から扇端まで長さ約2.6kmである。扇頂部の勾配は約40%、扇央で約20%、扇端で約12%で、扇頂から扇央にかけては、

東川や山田川によって開析を受け段丘化している（開析扇状地）。現在、扇状地東端を流下する東川は、市街地北部の周防高原南斜面に水源があり、扇頂までの延長は3.8kmの小河川にすぎない。

光市の室積半島⑰は、小規模ではあるがトンボロ及び陸繋島の海岸地形で室積の町が立地する。峨嵋山（標高116.9 m）を主峰とするかつての離れ島が、砂嘴の発達により本土と繋がれた。半島東部では、峨嵋山南麓を侵食した波や沿岸流によって、先端部に小砂嘴（象鼻ヶ岬）を形成している。その内側は、波静かな室積湾（御手洗湾とも呼ばれる）となっている。また、峨嵋山一帯は「峨嵋山樹林」として国の天然記念物に指定されており、南麓の海岸は「光のクサフグ産卵地」として県の天然記念物に指定されている。半島西方には、島田川河口から運ばれた花崗岩性の土砂によって、約5 kmの砂浜の室積海岸が形成されている。室積海岸から半島一帯にかけては、瀬戸内海国立公園の一部である。しかし埋め立ての影響で砂浜が浸食され養浜されている。

虹ヶ浜⑱も瀬戸内海国立公園に位置し、2.4kmに渡り白砂青松の続く自然海岸である。「日本の白砂青松100選」や「日本の渚・百選」に選定されている。島田川から運ばれた花崗岩性の砂により形成された。

### Ⅲ 周南の地理的課題

周南の地理的特色は、周南平野の南部の瀬戸内海に面した山陽本線より南に埋め立て地が広がり臨海工場地帯が展開する。徳山湾近隣に日本精蠟・帝人・帝人ハーキュレス・出光興産・出光石油化学・日本ゼオン・サンアロー化学・トクヤマ・三井化学・コバレントマテリアル徳山・東ソー・住福燃料・日新製鋼・徳山機械が操業する。下松・光地区には、新日本製鉄・武田薬品・日立製作所・東洋鋼鈑・新日本石油等が瀬戸内海に面してある。工業地帯の北側に商業地域と住宅が混在し、それを囲んで農地が広がる。その北側は、周南平野に山地がせり出し、高原地域に八代盆地・鹿野盆地等が点在し、ゴルフ場とともに菅野湖、米泉湖、向道湖、菊川湖、高瀬湖、温見湖等のダムや梨・ブドウ等の果樹園が存在する。



周南の地理的側面から見る課題としては、平野が少なく山地が多くを占め、商工業や宅地が瀬戸内側に集中しおり中山間地への展開に乏しい。中山間地域は、農業や林業が中心で現在高齢化が進みその維持継続に問題を呈している。しかし、一部NPO法人を立ち上げて若者を受け入れ問題解決を図っている地区もあるが、今後具体的にどの様な展開を図っていくか課題である。林業に関しては、ドイツの林業政策を参考にするのも良いであろう。新しくした課題や問題に対し例えば果樹園は観光果樹園として展開するとともにワインに加工し販売し、米作に関しては酒米の生産をするなど特色を出した展開を図っている地域もある。水産業に関しても高齢化が進んでいるが、河豚やヒラメで特色を出している地域もある。

そして周南平野の土地利用計画、埋め立て地の計画など各市とも都市計画を立てて展開を図っているが、工業都市と商業都市のバランスをどの様に展開していくか、また県が推進する観光をどの様なシーズで振興するか課題である。そのために近年若者の意見を聞くなど進展が図られている。

近年徳山下松港の進展等が取り上げられている。同港の平成23年度の輸出は、輸入超過でありそのバランスをどの様に解決していくか等の課題がある。輸出生産品目を増加させるための施策が必要となってくる。周南は平野が少ないために陸海運に関する交通網が集まり便利が良く今後物流の拠点化にどう進めていくか、その波及効果をどのように展開していくか、周南の地形的特色を活かせる利点がある。また観光として、観光農園や観光水産物、観光としての山や笠戸島などの自然資源、湯野温泉・三丘温泉・石舟温泉や冠梅園・回天等の資源を観光客増加のためにどの様に活性化していくか課題である。現在、夜景サミットが開催されるなど現代的観光資源を活用し活性化が図られている。こうした課題を解決していくことが「周南学」の目標一つである。



〔平成の大合併日本新地図〕 小学館 2005年

港湾取扱貨物物量（81品種）平成23年実績

山口県港湾課港清関係資料

品類・品種別	合計			外国貿易			国内貿易		
	計	輸移出	輸移入	計	輸出	輸入	計	移出	移入
合計	51,976,388	20,606,548	31,369,840	21,203,856	2,667,382	18,536,474	30,772,532	17,939,166	12,833,366
農水産品									
野菜・果物	25		25				25		25
その他畜産品	5		5				5		5
林産品	3,125	289	2,836	2,757	51	2,706	368	238	130
樹脂類	20		20				20		20
薪炭	9,945		9,945	9,945			9,945		
石炭	9,674,678	2,548,427	7,126,251	6,813,302		6,813,302	2,861,376	2,548,427	312,949
金属鉱	68,330		68,330	68,198		68,198	132		132
製材	1,027,397	492,007	535,390	2,270		2,270	1,025,127	492,007	533,120
石材	300,416	299,818	598	502	79	423	299,914	299,739	175
原油	6,099,027		6,099,027	5,844,472			5,844,472		254,555
石灰石	5,871,879	3,000	5,868,879				5,871,879	3,000	5,868,879
原塩	2,104,144		2,104,144	2,007,694		2,007,694	96,450		96,450
非金属鉱物	276,432	16,477	259,955	76,213	3,400	72,813	200,219	13,077	187,142
鉄鋼	1,123,565	891,468	232,097	164,579	12,685	151,894	958,986	878,783	80,203
鋼材	2,668,729	1,164,112	1,504,617	357,651	279,694	77,957	2,311,078	884,418	1,426,660
非鉄金属	55,687	26,840	28,847	52,476	24,810	27,666	3,211	2,030	1,181
金属製品	18,320	17,430	890	10,927	10,361	566	7,393	7,069	324
鉄道車両	40,519	40,519					40,519	40,519	
完成自動車	20		20				20		20
その他輸送用車両	1,484	1,433	51				1,484	1,433	51
二輪自動車	21		21	21			21		
自動車部品	6,458	4,137	2,321	6,291	4,102	2,189	167	35	132
その他輸送機械	759	21	738	719	1	718	40	20	20
産業機械	9,228	4,377	4,851	8,312	3,500	4,812	916	877	39
電気機械	309	40	269	287	40	247	22		22
測量器械他	21	21		21		21			
陶磁器	28		28	28		28			
セメント	3,758,207	3,755,026	3,181	446,930	446,930		3,311,277	3,308,096	3,181
ガラス類	4		4	4		4			
窯業品	176,098	122,037	54,061	8,932	258	8,674	167,166	121,779	45,387
重油	2,198,732	1,604,530	594,202	335,852	955	334,897	1,862,880	1,603,575	259,305
石油製品	6,667,317	3,590,557	3,076,760	2,651,269	121,139	2,530,130	4,016,048	3,469,418	546,630
LNG(液化石油ガス)	810,030	249,379	560,651	328,628	39,755	288,873	481,402	209,624	271,778
その他石油製品	441,670	312,227	129,443	193,255	163,440	29,815	248,415	148,787	99,628
コークス	54,881		54,881	2,091		2,091	52,790		52,790
化学薬品	5,028,501	3,927,345	1,101,156	1,166,871	1,030,353	136,518	3,861,630	2,896,992	964,638
化学肥料	356	216	140	356		216	140		
他科学工業品	742,219	699,780	42,439	528,764	509,839	18,925	213,455	189,941	23,514
紙・パルプ	1,719	1,004	715	964		964	755	40	715
糸・紡績半製品	2,932	2,932		2,751	2,751		181	181	
その他繊維工業品	33	33		33		33			
砂糖	129		129	119		119	10		10
製造食品	871	259	612	789	119	590	82	60	22
飲料	60		60				60		60
水	20		20				20		20
その他食料工業品	63	63		63	63				
衣服身用品履物	57		57	23		23	34		34
文房具・運動用品他	2,255	156	2,099	2,106	20	2,086	149	136	13
家具装飾品	445	2	443	435	2	433	10		10
その他日用品	25		25	20		20	5		5
ゴム製品	13,445	9,953	3,492	7,406	4,253	3,153	6,039	5,700	339
木製品	263	17	246				246		
その他製造工業品	103	23	80	103		23	80		
金属くず	365,444	8,999	356,445	59,364	5,751	53,613	306,080	3,248	302,832
再利用資材	698,017	109,027	588,990	32,733	1,249	31,484	665,284	107,778	557,506
動植物性製造原料	20		20				20		20
廃棄物	2,520	1,838	682				2,520	1,838	682
廃土砂	28,887	27,827	1,060				28,887	27,827	1,060
輸送用容器	18,234	6,926	11,308	7,067	428	6,639	11,167	6,498	4,669
取寄せ品	32,580	18,641	13,939				32,580	18,641	13,939
フェリー	1,569,680	647,335	647,335				1,569,680	647,335	647,335

## 【参考文献】

- 徳山市史編纂委員会編集『徳山市史』下巻 1988年 第一法規  
新南陽市史編纂委員会編集『新南陽市史』1986年 ぎょうせい  
鹿野町誌編纂委員会編集『鹿野町誌』1991年 ぎょうせい  
熊毛町編纂委員会発行『熊毛町史』1992年 ぎょうせい  
光市編纂委員会編集『光市史』1978年 光市役所  
都濃郡役所編『都濃郡誌』1986年 マツノ書店  
山口県商工連合会『山口県の商工会現況』1990年  
日本石油株式会社編『日本石油百年史』1988年  
猪木幸男編『日本地質図大系 中国・四国地方』1991年 朝倉書店  
角川日本地名大辞典編纂委員会編『角川日本地名大辞典—35 山口県』1988 角川書店  
山口県『土地分類基本調査—徳山・光 5万分の1—』1978年  
国土交通省中国地方整備局・国土地理院『中国地方の古地理に関する調査報告書』2001年